

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援	少しでも外に出る機会を作る。	天気の良い日は職員と一緒に苑近くを散歩する。	1ヶ月
2	40	○食事を楽しむことのできる支援	職員と利用者が一緒に食事を作り、食べる機会を増やす	食事会や誕生会を開催し、家族、職員で食事をする。	1ヶ月
3	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映	さらに意見や要望を聞く工夫や機会を増やしていく。	ファミリー通信などの情報発信を通じて家族からの意見、要望をひきだす機会をつくる。	1ヶ月
4	35	○災害対策	ホーム独自の避難訓練の実施	来年度事業計画としてあげていく。	ヶ月
5	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング	家族、本人に対して十分な話し合いの時間がとれるように調整をする	ケース会後に介護計画書の説明をし、同意をいただく。	ヶ月
6	4	○運営推進会議を活かした取り組み 実施回数が少なくまた、参加しやすいものにする。	2か月に1回の開催と構成メンバー、内容の工夫をする。	役員や家族の方と一緒に食事会等を行い、グループホームの状況がわかるようになり、意見が出やすいようにする。	ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。